

第1回学校評価アンケート結果について

学校評価アンケートへのご協力をいただき、大変ありがとうございました。第1回目の結果をもとに、学校での取組や今後各ご家庭にご協力いただきたいことについてお知らせいたします。なお、第2回目は2学期末に実施し、今回のアンケートと同じ内容についての回答をお願いする予定です。本結果を踏まえ、より良い学校となるよう努力してまいりたいと思います。今後とも、ご協力をお願いいたします。

具体的評価項目と方策については、1学期の初めに学校だよりで示したものです。結果の数値は、「そう思う」「だいたいそう思う」という回答を合計した割合を示しています。色のついている部分は80%未満の項目です。

赤字は令和6年度に追加したものです

1と2の割合

具体的評価項目	方 策	1と2の割合	
		児童	保護者
「わかりやすい」授業	○個別指導やグループ指導、繰り返し指導、少人数指導、補充指導等を実施します。 ○ICT機器を効果的に活用した授業づくりに取り組みます。 ○一人2授業公開による研究会等を実施します。	92.4	78.2
基礎的基本的学習内容の定着	○本時のねらいや評価を明確にした授業を実施します。 ○定着度を把握し、個別指導を実施します。 ○ モジュール学習 を実施します。	87.5	81.8
宿題や補充学習	○まとめのテストや授業中の見取りから、児童への定着度を考慮して、宿題等を計画します。 ○取組状況に応じて、個別指導を充実させます。	91.1	89.4
家庭学習の習慣	○学年の実態に応じた「家庭学習の手引き」を作成し、家庭と協力した自主学習の充実を図ります。 ○学習の定着を促す宿題や自主学習を工夫します。	84.9	63.6
読書活動	○読書の時間や読み聞かせの機会を設け、本の魅力を感じさせるような工夫をします。 ○「図書たより」の発行、図書委員会の活性化により、図書室からの情報発信をします。	73.9	52.0
すすんで挨拶	○教師、保護者からの声かけを率先して行い、場面をとらえて繰り返し指導します。 ○児童会の活動等で、あいさつ運動期間を設けます。	85.4	71.3
自分の気持ちを言葉で伝える	○学校生活全体を通してはっきりとした受け答えを継続的に指導します。	81.6	77.9
親切な言動	○「ぐんまの子供のためのルールブック50」等を活用して日常生活の指導の充実を図り、自分の心を見つめる道徳教育を推進します。	89.8	87.2
いじめのない温かな人間関係	○児童一人一人の思いを理解し、互いのよさや違いを認め合える学級集団づくりに努めます。 ○月一回のいじめアンケートをはじめ「いじめ防止基本方針」を基に、組織的に全教職員で対応していきます。	93.7	96.4
自分のよさの自覚	○児童が活躍できる場面を意図的に設定し、その取組について積極的にほめる場面をつくります。 ○朝の会や学級活動等で児童同士の交流を図り、互いを認め合うなど、自己有用感を育てます。	85.5	74.5
きまりや約束を守る	○「新里中央小のきまり」をもとに「月の生活目標」を設定し指導の徹底を図ります。 ○教科指導や学級活動を通して、家庭で担える役割に気付き実践する態度を育成します。 ○「生活ふりかえりカード」や「生活習慣チェックシート」を活用し、アウトメディアなど自分の生活を振り返る期間を学期に一度設定します。	93.4	84.4
将来の夢や希望	○懇談会・教育相談、2者面談等を通じて発達段階に合わせて家庭で話し合える話題を提供します。 ○学級活動や各教科の指導を通して、 キャリア教育の充実 を図り、自らの将来について考える機会を設けます。	70.1	72.3

規則正しい生活習慣	○養護教諭や栄養教諭と連携し、食事や睡眠と体の成長を関連付けた授業実践を行います。 ○「生活ふり返りカード」を基に、規則正しい生活習慣の育成を保護者に呼びかけます。	83	79.3
体を動かすこと	○休み時間等に外で遊ぶことを勧めます。 ○「朝の運動」を定期的に設定し、運動の時間を確保します。また、運動の仕方を指導します。 ○運動の楽しさを味わわせる教科体育を充実します。	84.5	83.3
安全管理	○火災・不審者・地震の避難訓練を行います。 ○防犯教室を実施し、実践的安全教育を行います。	95	90.2
交通ルール	○参加体験型等の交通安全教室を実施します。 ○学級活動における交通安全指導の充実を図ります。	95.7	90.2
通学路の安全対策	○通学路の安全点検を保護者と連携して実施します。 ○危険回避能力を育むために、緊急時対応について親子で話し合いのできる資料を作成します。 ○一斉下校時等を活用し、通学路の「安全協力の家」の認知を高めます。	91	73.7
地域の安全	○職員や保護者によるパトロールを継続します。 ○非常時の児童引き渡し訓練を年1回行います。 ○スクールゾーン対策委員会で具体的な危険箇所を共通理解し改善を働きかけます。 ○地域の防犯協会との連携を深めます。	95	76.7
特別支援の体制	○生徒指導・教育相談、校内特別支援委員会を定期的に開催し、児童の実態把握・支援体制の確立や指導に役立てます。		
保護者への情報発信	○学校便り・学年通信等で適宜情報発信をします。 ○地域回覧板による学校便りの回覧等を実施し、地域への情報発信します。		82.2
保護者の懇談会への参加	○保護者のニーズの高い話題が話し合われるよう工夫します(事前周知)。 ○学校行事を積極的に公開します。		87.3
学校行事やPTA行事への参加	○各種学校行事を学校便り・学年通信等で知らせたり、ふれあいメールや テトル を活用したりして周知します。		89.5
相談体制	○いつでも保護者や児童からの相談を大切に受け止め、相談者の気持ちを大切にします。 ○スクールカウンセラーを活用していきます。		85.4
施設設備の安全管理	○安全点検を月1回以上行います。 ○校内巡視や 五者点検 を適宜行い、危険箇所の早期発見に努め、修繕していきます。		

学習面について

「わかりやすい」授業について、児童の割合は90%を超えています。保護者の方の割合は80%を少し下回っています。保護者の方のご意見を謙虚に受け止め、授業改善に努めます。児童の学力をさらに高めるため、日々の授業を工夫し、「主体的で 対話的で 深い学び」の実現を図ります。大型モニターや一人一台端末、実物投影機等のICTを有効活用し、ユニバーサルデザインの授業を意識し、基礎学力の定着と思考力・表現力の育成に努めます。

家庭学習の習慣について児童の割合は昨年度に比べて向上していますが、保護者の方の割合が80%を大きく下回っています。読書活動の割合も低くなっています。児童が引き続きすすんで自主学習に取り組めるよう自主学習の手引きを充実させたり、学習の内容を明らかにしたりします。家庭学習については、保護者の方の温かな声かけがあると児童のやる気がアップします。モチベーションを高める声かけをお願いします。読書は、全ての教育活動の基礎であると捉えています。学年にふさわしい本、興味関心に基づいた本、昔から伝わっている良い本等を紹介しながら、読書活動を推進していきます。図書室で借りた本を持ち帰り、家で読書する習慣も身につけていきます。親子で読書をする時間も設け、学校と家庭とが連携して読書活動を進めていきましょう。

生活面について

「すすんで挨拶」や「自分の気持ちを言葉で伝える」ことについて、児童の回答と保護者の回答に差が見られます。児童は「行っている」つもりですが、保護者の方にとっては「不十分」という状態なのでしょう。特に、あいさつについては、学校では大きな声で爽やかにあいさつしている児童を多く見かけます。ところが、交通指導員さんや旗振りの皆様へあいさつしている児童が半分くらいです。あいさつは、人と人をつなぐ一番簡単な方法ですので、教職員が範を示しながら、あいさつの大切さについて指導を強化していきます。朝礼や集会の場面での指導、各クラスでの指導を行っていきます。各ご家庭におかれましても、あいさつの推進をお願いします。

親切かな言動がたくさんできるよう、「良い行い」を進んで行う児童を育てます。

いじめのない温かな人間関係は90%を超えています。担任を中心に、子供たちとコミュニケーションを密にとりながら、温かな人間関係向上に向けて努めます。いじめなど、人権を侵害するような言動に対しては毅然とした態度で指導にあたります。お子さんのことで心配なことがございましたら、遠慮なく学校へ連絡してください。

将来の夢や希望

この項目は、学校経営方針の一番に掲げている「子供たちと先生たちの、志や夢を実現する学校」と対応しています。その数値が低いのはまだまだ実践が不十分であることを示しています。朝礼の時間を使って「将来の夢 なりたい職業について」という話題で話をします。将来の夢やなりたい職業というと、長い遠くの目標という気がしますが、目の前の小さな一つ一つの目標を設定・実現していくことで、「なりたい自分」に近づくと考えております。学級で、学年で、様々な教育活動や行事を展開しております。その一つ一つの活動の意味や目標を考え、自分の力で乗り越える経験をさせていきたいと思っております。各ご家庭におかれましても、将来の夢や希望について話題にいただき、未来志向で自己実現を図る態度を身につけさせてください。また、キャリア教育の充実を図り、自分自身を見つめさせる機会や将来の自分について考えさせる機会を設けていきます。

健康・安全面について

子供たちの安全を守ることは、教育活動を展開する上で一番大切なことと捉えております。そのことについて概ね満足できる評価をしていただいておりますが、避難訓練や防犯教室、交通安全教室、登下校時の安全な歩き方等の指導を充実させていきます。また、学校施設や設備の安全管理については、今年度も五者点検を実施し、定期的に、複数の目で点検しております。修繕が必要な場合にはすぐに対応しております。

規則正しい生活習慣や体を動かすことについて、養護教諭や体育主任・体育部等で様々な実践を工夫し、展開しております。健康面では、「生活ふり返りカード」の実施、歯科指導、学校保健委員会等を実施し、よりよい生活習慣を目指しております。取組の意味についてご理解いただき、各ご家庭においてもご協力をお願いします。体力向上については、高学年における水泳・陸上の特別練習をはじめ、休み時間の外遊びの推進、朝運動の実施を行っております。体を動かすことで、脳が目覚め、学習にも良い影響を与えるという報告もございます。休日、天気の良い日には、家族みんなで体を動かすといった体験も有効です。

学校ホームページをリニューアルしました。本校の教育活動について日々更新しております。これまで、学校だよりや学年だより等で学校の様子をお伝えしておりましたが、学校と家庭との信頼関係をさらに深いものにするために、学校ホームページを活用していきます。ご覧ください。

学校評価の結果を生かして

学校では、PDCAサイクル（プラン、ドゥ、チェック、アクション）を実施しています。保護者の皆様による学校評価はC「チェック」の一つです。保護者の皆様の回答や記述を生かし、次の実践へとつなげてまいります。

先日、職員会議において、各学年への評価の分析と、改善のための方法を考え、学校全体で検討・共有する取組を実施しました。学校では、児童の実態や興味関心等に応じて、様々な手法を考え、取り組んでおります。望ましい姿が見られたときには、学校全体で共有し、次の実践へと生かします。望ましい姿に至らなかった場合、何が足りなかったのかを分析し、次の児童の成長に向けての改善策を考えております。

保護者の皆様、学校評議員の皆様等の声を伺い、児童の成長、学校の飛躍に向けて取り組んでおりますので、様々な声をお聞かせください。